

## 第4回 豊川市公共施設適正配置計画策定委員会

日時：平成26年10月28日（火）

午後2時から

場所：豊川市役所 委員会室（本庁舎3階）

### 1 開会

出席 委員9名、事務局8名、傍聴9名

### 2 議事

#### （1）第2回豊川市公共施設適正配置計画策定委員会での意見について

事務局	資料1の説明。
委員長	ただいまの説明について、ご意見を伺いたいと思います。 将来像についてはこの修正案でよいでしょうか。 重点取組の修正についてもよろしいでしょうか。 他の意見については今後の資料作成に活かしていくということになるかと思えます。これもよろしいでしょうか。 資料の修正については特に問題は無いということでもよろしいでしょうか。 では次に進みます。

#### （2）豊川市公共施設適正配置の共通方針（案）について

事務局	資料2、参考資料1・2の説明。
委員長	資料2は、最初に庁舎等について、次はコミュニティ施設、最後が学校という分類がされています。この3つが2ページずつありますので、最初に庁舎について話していただいて、続いてコミュニティ施設、学校、最後に全体を通して意見を伺う形で進めたいと思います。
委員	今後10年間の取組で、教育委員会は音羽、上下水道は一宮にありますが、なぜ支所にあるのですか。偶然なのか、何か目的があってそこにあるのでしょうか。
事務局	単純に本庁舎にスペースが無いということです。教育委員会は多数の職員がおり、会議も頻繁に行われます。教育委員会、上下水道事業もセンター機能

	なので、本庁及びその周辺に持ってこられないか検討を始めたい。
事務局	第一に合併による職員が増えました。その上で合併の経緯もあって、一宮は総合支所として機能を持たせたい、各庁舎を有効利用、まちの活性化を少しでも維持していきたいという各町の思いがあり、大きな部署の教育委員会、上下水道が動いたと記憶しています。
委員	ということは、移転しても問題は無いということでしょうか。
委員長	合併時点の庁舎の有効利用ということでしょうか。
委員	行政サービスは、庁舎だけでなくプリオにも一部が入っています。それも視野に入れているのですか。
事務局	プリオに関しては、現在はボランティアセンター等で利用しています。但し窓口センター等の行政サービス機能は、再編等を視野に入れる可能性があります。
委員	プリオにも本部機能を持たせるという点は視野に入っていないのですか。
事務局	本庁に全ての行政サービス機能を収めようとしても現状ではスペースがないわけですが、プリオに関しては現状の使われ方をしています。プリオに限らず諏訪周辺の施設について検証し、再編を考えていくものです。
委員	教職員全体で千人を超えている。全員集まることはないが、教職員は現状の場所の方が、都合が良いと言っています。
委員長	どの程度の範囲の方の意見ですか。
委員	教職員全体の意見です。
委員	スペースなど利便性が良いということですか。
委員	そうです。
委員	生活に密着した大事なもの、例えば道路部局かは一箇所にとどめるべきです。今すぐにとはいかないかもしれませんが、そうしないと豊川市の機能が半減する可能性があると思います。
委員	豊川市の規模はそんなに大きくないので、離れていてもたいした距離ではないと思います。統合・廃止という検討をしている中で、集約化して新たな施設を作るという方向ではないと思いますが、合併して良い施設がいっぱいあるのに、使わないというのはもったいなく、市全体が活性化につながると思う。施設が離れていることにどんなデメリットがあるのか具体的にわかりません。

事務局	<p>10 年間の中で本庁舎自体を更新することは念頭に入れていません。但し、どこまでいっても、委員の意見で、生活に密着している機能は、センターにあった方が良いという意見もありますので、その辺はしっかり検証していきたい。</p>
委員	<p>庁舎だけではないが、視点が行政側からの視点が強すぎる。市民側の目線を見た時に配置計画はどうあるべきかという視点が必要です。30%縮減するストーリーに持っていく資料になっているように思います。教育委員会が離れていることが市民にとってどうなのか、各学校にとってどうなのか、教職員にとってどうなのか。行政側の効率化が最優先されてしまっているように思います。市民にとっての利便性、安全性確保が最大で、その上での課題が謳われて、方針があるという資料でないといけない。配置すべき機能ではなく、市民にとって必要な機能という書き方が良いのではないのでしょうか。行政側の目線が強すぎる感があって、内容的に問題は無いが、書き方の問題が全般にわたって言えます。</p> <p>庁舎の配置のことも、どれくらい足りないのか、どれくらい余っているのか、こういう課題がある、といった記述があるべきです。職員一人当たり 15㎡だからというのは乱暴な話で、実際にはそれぞれの庁舎で過剰具合、余剰具合が違うと思います。例えば、周辺施設で、今の音羽庁舎や一宮庁舎にあるものを移転させるには何㎡が必要であると、それには足りないのかどうかというような話があって、そうだから課題であるというようなことがもう少し明解にわかって、その結果 30%縮小可能なのかどうかという話だと思います。</p> <p>一方で、今後 10 年間のロードマップですが、10 年間で検討までしかいかないのは遅い。仮に教育委員会や上下水道が移転するとしたら、10 年の間、今の施設のままで良いのか、もっとスピーディにやるべきです。行政の効率性の観点からも遅すぎると思います。</p>
委員	<p>10 年の間に決めるという考えを持っているのでしょうか。</p>
事務局	<p>参考資料の中でモデルエリアを示しています。今回は、全施設の老朽度や利用状況などをエリアごとにまとめて、多機能化などができるのか評価していただけるような資料を提供したい。10 年間の中で方向性を検討するだけで終わるのではなく、次年度以降は事業を実施する段階と捉えています。但し 10 年間ですべての施設の事業化が出来るわけではないので、エリアごとに優</p>

	先度を図りながら事業を進めていきたい。
委員	<p>参考資料2はよくまとめられていると思います。こんなに公共施設があるのかと思いました。はじめにそういう説明があってから、資料説明に入るとわかりやすいと思います。</p> <p>言葉の定義の問題ですが、廃止というのは具体的にどういうことを言っているのですか。</p>
事務局	ハード面での廃止となると取り壊しということも視野に入れていきます。
委員	いろいろな考え方があるということですか、売却とかも。
事務局	はい。
委員	再編イメージの図の中で、各庁舎の対応関係がわかるようにしてほしい。
委員	市民の目線から言うと、いろいろな書類を揃える時にワンストップでできるのかということが重要になります。税務署だけ別の所にあるために不便になることもあります。
委員	上下水道や教育委員会に関することでも、市内に移転した人がいろいろな部署をまわらなくてはいけないという問題もあります。転校手続き等を行う教育委員会の機能は本庁舎にあると良いのか、そのあたりは見直していく必要があります。
委員長	各委員からの指摘の中で、1つは市民目線の書き方があるのではないかとのことだったと思います。共通方針の書き方としては、どのような書き方が良いのでしょうか。
委員	数字があるなら、本庁舎や一宮庁舎などに、市民がどういう目的で来ているのかといったことも示したい。
委員長	どこからどういう手段で来ているのか、どういうサービスを望んでいるのか、そういう調査が必要なのではということです。
委員	市民の利便性を最優先に考えているということが書いてあるかどうかだと思います。
委員長	資料2にあるイメージ図と具体的な施設との対応関係、例として上下水道部門や教育委員会を持ってきたときの面積の問題などや事業をスピーディに進めるべきといった意見については対応していただきたい。
委員	モデルとなるものが決まっているので、例えばというものを示していただければわかりやすい。参考資料の再編イメージは当たり前のことを書いてあ

	<p>るだけです。</p> <p>また、面積だけでなく金額の効果も示してほしい。廃止後の良いイメージが伝わるように盛り込まれていくと、今後の事業につながっていくと思います。</p>
委員長	<p>コミュニティ施設についてはいかがですか。公民館などが中心になると思います。</p>
委員	<p>老人憩いの家は10施設ありますが、これは町内会とはどのようにつながっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>老人憩いの家は御津と音羽と一宮にあります。実質的には貸し館的な業務が中心になっています。</p>
委員	<p>児童福祉施設、公民館、生涯学習施設、地域福祉センターは小中学校との関係が密接にあると思います。少子高齢化で今後小中学校の子どもは減っていき、小中学校は活用の方が出てきます。学校問題の適正化から考えて、幅を広げていくのが良いのではないのでしょうか。複式学級は豊川市で出てくる可能性があります。</p>
委員長	<p>重点取組の1つにコミュニティの問題があり、これは校区と密接に結びついています。コミュニティと学校の両方向で考えていく必要があります。コミュニティの再編と学校の問題を関連させて議論する、全体を見ていく上ではその方が良いのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>重点取組の3つには関連があります。現在は用途別の表示ですが、地域別にまとめて見ていける資料を次回には提示したいと考えています。</p>
委員	<p>老人憩いの家を自治会に譲渡するとありますが、自治会はもらっても困るのでは。もう少し市民ニーズをリサーチして書いてほしい。また、福祉センターは必要性が低ければ廃止も含めて検討するとありますが、何を必要の高低かを言うのですか。</p>
事務局	<p>地縁団体等へ譲渡するのはなかなか難しいのではないかという意見でしたが、実施していく中ではそのような意見もあると思いますが、まずは地域住民のための施設という観点で、地元と話をしていきたい。方針の表現については検討したいと思います。</p> <p>必要性の高さについても、エリアごとに分けて評価を提示していきたい。</p>
委員	<p>白書やアンケートをもとに、評価の視点がどうなるのか、もう少しクリア</p>

	<p>にしてほしい。市内で施設の配置にばらつきがあることや施設によって利用率が違うこと、アンケートによって優劣が違うこともわかっている。使われている全体像を踏まえて話をしたほうがわかりやすいと思います。</p> <p>コミュニティ施設を校区ごとに面積を想定しているが、実際は地域によって実情が違うので、各地域をどう考えていくかについても、基本方針で謳うべき内容だと思います。コミュニティ施設は他都市では利用率が低いですが、豊川市は利用率が高い。それは良いことだと思います。それをもっとまちづくりに積極的に利用するというのが大事であり、コミュニティを活性化していくためにうまく使うことが基本方針になると思います。</p>
委員	<p>シミュレーションでの想定面積は意味の無いものです。地域の結びつきを強めながら、コミュニティの絆を強めていくなど、明確なコンセプトを持った方が良いと思います。</p>
委員長	<p>今後、資料を作成していく中でいろいろと試行錯誤していただくと良いと思います。地域の結びつきをどう確保して機能集約・移転をしていくかを念頭に考えていくと良いのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>地区のコミュニティ施設についてルール化していきたいと考えています。老人憩いの家は集会施設で補助金をもらって作ったものですが、豊川市のルールにより更新にあわせて補助金でやっていただけないか。老人憩いの家は規模からいうと町内会の施設に近いので、そういうものは町内会に渡して、次からは補助金で町内会の施設として運営していただきたいという考え方で</p> <p>す。</p> <p>過去の経緯の中でいろいろな施設があります。地域に根ざしたコミュニティ施設については、中学校区と小学校区で、ある程度の規模の公共施設を市が維持管理していく。合併の経緯でいろいろな施設があるので再配置に合わせて50年後に統一した見解が出せるような事が出来ないか。地区の集会所についてもその地区の住民の数によって補助金が違うので、小学校・中学校を一つのコミュニティ単位としていくという考え方でコミュニティ施設を集約していくことを提案させていただいています。委員の方の意見を反映して見直していきたい。</p>
委員	<p>コミュニティ施設が増えてくると、運営する人材をどうやって充足していくのかという視点もあると良いと思います。</p>

事務局	ハコを作っても、その中で地域の方が活動していくことが重要です。施設の目的に沿って運営方針についても地域を巻き込んでいきたい。
事務局	小学校であれば昼が子ども、夜は地域住民が使うこともできます。
委員長	学校についてはいかがでしょうか。
委員	学校は非常に難しい問題です。面積削減のシミュレーションはあえてしなくても良いのではないのでしょうか。学校が地域の拠点となることを示すことが重要です。学校が無くなるのが前面で出てしまうことは非常に大きな問題です。学校が地域の拠点になるということを前面に謳う方が大事です。文科省が言っているからというのは言わない方が良いと思います。
委員	学校は次世代を育てる場所です。小学校を存続できるかどうかという問題もある学校があります。保育園との問題もあります。学校が統合される場合には保育園も一緒に考えると良いと思います。
事務局	共通方針2では保育園の複合化も視野に入れていきます。可能性があれば検証していきたい。
委員	福祉センターは今現在利用が少ない状況にありますが、施設の有効活用はできると視察の際に思いました。 公民館は職員が常駐しており、市民館は地域の指定管理を受けています。公民館と市民館では施設の充実度が違います。そのことを考えずに統合することは難しいと思います。市民館の方が人的に充実しており、市の予算も公民館より市民館の方が高い予算がついています。同じことが老人憩いの家でも言えるかもしれません。あまり利用されない所は思い切って廃止し、公民館と市民館の充実を図るなら、保育園、学校も一緒に視野に入れて整備していくのが良いのではないのでしょうか。
事務局	公民館と市民館とでは時間帯で利用度の差があります。それぞれが備える部屋の機能には互換性があるので、地元の意見を聞いて、細かく精査して良い形を探していきたい。
委員	コミュニティ施設でも、公民館と市民館は所管が違い、それによって管理の充実度が違うこともあります。豊川市の場合はそういう問題は無いですか。
事務局	公民館など所定の法律がある中で整備、運営していますが、少なくとも今後の複合化やそれ以降の管理にあたっては所管の垣根を越えてやっていきたい。

委員	今後 10 年の取組として、複式学級の発生が予測され、校区の再編についても盛り込むほか、学校は店子であっても良いという考えを打ち出すなど、もう少し膨らましたものを盛り込んでほしい。
委員長	校区の再編について、この計画に入れ込むことは難しいと思います。 膨らますということは、どういうことでしょうか。
委員	50 年後は現存する建物は無いので、他の複合施設の中に学校を取り込むという考えもあると思います。
委員	50 年後に 30%削減する目標が書いてあるのだが、イメージはできません。 人口も半減するし、そのときの都市像を描ききれないのではないのでしょうか。
委員	中学校は維持しなくてはいけないのですか。
事務局	人口の予測等から 10 年間の間に中学校区を減らすことは無いと想定しています。
委員	50 年後のイメージは想像つかないので、もう少し手前の話でも良いのではないですか。
委員長	50 年後と書かなくても、将来のイメージで良いのではないですか。 議題 2 の重点取組の共通方針についてお認めいただいたということで、宜しいですか。お認めいただいたと思います。 これで本日の議事を終了したいと思います。

### 3 その他

事務局	次回の策定委員会については、12 月 22 日（月）に第 5 回策定委員会を開催します。次回策定委員会では、10 年間の取組に重点を置いて、各エリアについてイメージしやすい資料を考えたい。
委員長	これで閉会したいと思います。ご協力ありがとうございました。

### 4 閉会